

私立大学図書館協会2012年度西地区部会第2回役員会議事要録

1. 日時：2012年9月13日（木）15：25～17：30

2. 場所：鹿児島東急イン 2階 「アルノー」

3. 出席 12校 22名

<敬称略>

役員名称	大学名	職名	氏名
会長校	立教大学	事務部長 学術資料課課長補佐	阿久津美都子 伊藤 秀弥
監事校	関西大学	図書館長 副主幹	北川 勝彦 金 東澄
東海地区理事校	中京大学	事務室長 課長	中河原省三 渡辺 英二
京都地区理事校	奈良大学	図書課長	奥野 貞介
阪神地区理事校	桃山学院大学	事務課課長	竹島 亮輔
中国・四国地区理事校	広島工業大学	サブリーダー	森保 信吾
九州地区理事校	熊本学園大学	図書情報課長 図書課長補佐	津村 秀夫 上野 照美
研究会当番校	鹿児島国際大学	図書館長 図書館課長 図書館係長	種村エイ子 仮屋 淳子 大西由以子
次期部会長校	愛知学院大学	事務長	足立 祐輔
次年度総会当番校	皇學館大学	事務長	吉崎 久
次年度研究会当番校	岡山理科大学	図書館長 事務室次長	橋爪 道彦 林 成吾
部会長校	広島修道大学	図書館長 図書館次長 図書課長 図書課担当課長	今石 正人 若宮 寿仁 社家 彰夫 木村 千鶴

議事に先立ち、部会長校 広島修道大学図書館長 今石正人、会長校 立教大学図書館事務部長 阿久津美都子、研究会当番校 鹿児島国際大学図書館長 種村エイ子から挨拶があり、続いて出席者全員が自己紹介を行った。

議長は部会長校 広島修道大学図書館長 今石正人が担当した。

【議事】

I 報告事項

一連の報告事項については、先の東西合同役員会、総会での報告と重複することから、簡潔に報告することとし、質疑については全ての報告事項が終了してから行うこととした。

1. 西地区部会会務報告

部会長校：広島修道大学（社家）から、配付資料（P.3～4）に基づき報告があった。

2. 各地区協議会及び各地区研究会報告

(1) 東海地区

東海地区理事校：中京大学（中河原）から、配付資料（P.5～7）に基づき報告があった。

(2) 京都地区

京都地区理事校：奈良大学（奥野）から、配付資料（P.8～9）に基づき報告があった。

(3) 阪神地区

阪神地区理事校：桃山学院大学（竹島）から、配付資料（P.9～11）に基づき報告があった。

(4) 中国・四国地区

中国・四国地区理事校：広島工業大学（森保）から、配付資料（P.11）に基づき報告があった。

(5) 九州地区

九州地区理事校：熊本学園大学（津村）から、配付資料（P.12～13）に基づき報告があった。

3. 私立大学図書館協会会務報告

会長校：立教大学（阿久津）から、配付資料（P.14～22）に基づき報告があった。

4. 2012年度西地区部会研究会の開催運営について

西地区部会研究会当番校：鹿児島国際大学（仮屋）から、配付資料（P.22～23）に基づき「新しい図書館活用の可能性を求めて」をメインテーマとし、74校95名の参加予定であること、当日のバスの運行、全体の運営概要について説明があった。

5. 2013年度研究会運営委員校について

部会長校：広島修道大学（社家）から、配付資料（P.23）に基づき、次年度研究会の開催概要を検討する6校の運営委員校の紹介、ならびに、次年度研究会当番校の岡山理科大学において2013年度研究会の日程やテーマ、講演会などに関して検討する第1回運営委員会を10月19日（金）に開催予定であることの説明があった。

また、今後、各地区協議会に研究発表者の推薦を依頼する運びとなることから、その取り計らいについて依頼があった。

報告事項に関する質疑応答：

九州地区協議会：熊本学園大学（津村）より、新規加盟校の審査基準の有無、脱退手続きについて質問があった。新規に加盟する大学については特に審査の基準はないが、加盟希望校は「加盟申込書」を各地区理事校に提出をし、部会長校を経由して会長校へと提出される稟議形式をとり、東西合同役員会、総会で審議された後に加入が認められるということを確認した。今年度の脱退校については、募集停止、私立から公立への移行という理由であったため、特に問い合わせることなく受理した。

II 協議事項

1. 2013年度西地区部会 総会運営(案)について

次年度総会当番校：皇學館大学（吉崎）から、配付資料（P.24）に基づき2013年6月21日（金）に開催予定の西地区部会総会について、午前の総会、昼食時の館長懇話会、午後の講演や見学等について概要説明があり承認された。

2. 2013年度西地区部会 館長懇話会の運営(案)について

次期部会長校：愛知学院大学（足立）から、配布資料（P.24）および別紙「私立大学図書館協会2013年度西地区部会「館長懇話会」のテーマについて（お願い）」に基づき説明があった。館長懇話会への出席は原則として図書館長、センター長及び館長代理の方に限らせていただくこと、会場を2つに分けることにより、より多くの館長に発言していただく機会を設けることとしたい。運営は部会長校と総会当番校がそれぞれの会場を担当する。なお、今後の実施については、食事時間と懇話会の時間をはっきりと分けるために、別途、意見交換会（懇親会）を実施することを検討したいという意見が出された。テーマについては、4つの案（別紙）について役員校へのアンケートを実施し、その回答に基づいて決定することとしたい。要項については第3回役員会（3月8日）において提出する旨説明があり承認された。

3. 2013年度予備費の予算計上について

九州地区協議会：熊本学園大学（津村）から、別紙「私立大学図書館協会西地区部会の予備費についての要望理由書」に基づき説明があった。続いて、部会長校：広島修道大学（木村）から、次の通り説明があった。

①予備費についての経緯説明

2011年度の「予備費」60万円の内の50万円（1地区10万円）は、「研究会に対する特別事業に対する補助」と研究会に限定したが、2012年度についてはその枠を取り除き、「総会、研究会等における特別事業に対する補助」とした。

②予備費の申請及び執行について

予備費については当該年度に申請をし、役員会の承認を得てから執行することができる。また、単年度ごとに見直すことになっている。

③協議内容

九州地区協議会からの要望は今年度に事業申請をし、次年度に予算を執行するというものであることから、現時点において役員会が確認している内容（②）と齟齬が生じることとなる。しかし、総会等は各地区とも年度初めに開催され、当該年度申請では

執行することが難しいことから、事前に事業を申請し、あらかじめ予算案に組み込むことについての協議依頼があった。

この件について協議した結果、地区部会の活性化のための特別事業補助という主旨や総会等の準備スケジュールからすると、当該年度の申請では運用が難しいことから、本件については承認することとした。なお、この予備費のあり方については、引き続き役員会において審議することが確認された。

Ⅲ 承合事項

なし

Ⅳ 確認事項

1. 2013年度以降の西地区部会役員校について
2. 2013・2014年度私立大学図書館協会委員会および協会関連団体委員について
部会長校：広島修道大学（社家）から、配付資料（P.24-27）に基づいて報告を行い、確認をした。会長校：立教大学（阿久津）から、2019・2020年度の会長校については、國學院大学が担当する追加の報告があり、確認をした。
3. その他
(1) 協会ホームページの充実、ならびに、記事の掲載業務についての情報交換を行った。

以上